

科目名 (科目番号)		臨床医学総論 (内科学・外科学) (時間割参照)	教員名	佐藤 宜伯	学科等	医療技術	必修	履修年次	3
					曜日・時限等	時間割表参照	単位数		2
					授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要		内科学概論および外科学概論について学ぶ。すなわち内科学概論では内科学的疾患へのアプローチ（原因・疾病の症状と経過など）、症候と病態生理（肥満・呼吸困難・動悸など）、応急と救急処置（心停止・昏睡・出血など）などについて学ぶ。また外科学概論では外科学手術概論として外科学的侵襲に対する反応（水電解質反応・免疫反応など）、基本的手術手技（止血法・結紮・ドレナージなど）、移植（移植手術法・免疫抑制・拒絶反応のなど）、創傷治療（創傷処置、上皮形成など）、消毒・滅菌（無菌法・術者・患者の消毒・手術器械や材料の滅菌など）などについて学ぶ。							
目的・目標		目的:内科学と外科学の基礎的知識を理解する。 目標:①疾患の病因、症状、臨床経過と診断法を学習する、②外傷の応急・救急処置および創傷治癒を学習する、③急性生体反応の病態を学習する、④臓器移植について学習する、⑤消毒と滅菌法を学習する。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	内科学的疾患へのアプローチ、臨床検査概論、臨床生理学的検査		到達目標:内科学的疾患へのアプローチ(診断と治療)、病理学的検査、生化学的検査、細菌学的検査、生理学的検査について理解する 学習内容:内科学的疾患へのアプローチ(診断と治療)、病理学的検査、生化学的検査、細菌学的検査、生理学的検査					
	2	症候と病態生理		到達目標:症候と病態生理について理解する 学習内容:チアノーゼ、浮腫、胸水、腹水、呼吸困難、同期、黄疸、肥満、胸痛、腹痛、意識障害と失神など					
	3	全身疾患の病態生理、治療法の概要①		到達目標:脱水、電解質異常について 学習内容:脱水、電解質異常					
	4	全身疾患の病態生理、治療法の概要②		到達目標:酸塩基平衡(アシドーシスとアルカローシス)について理解する 学習内容:酸塩基平衡(アシドーシスとアルカローシス)					
	5	全身疾患の病態生理、治療法の概要③		到達目標:ショックについて理解する 学習内容:ショックの分類、診断、治療について					
	6	応急・救急処置		到達目標:応急・救急処置について理解する 学習内容:心停止、意識障害、誤嚥、出血について					
	7	手術概論、移植・輸血		到達目標:手術概論について理解する 学習内容:外科的侵襲に対する反応、基本的手術手技、移植・輸血について					
	8	創傷治療		到達目標:創傷治療について理解する 学習内容:創傷治療の過程、創傷処置について					
	9	消毒・滅菌		到達目標:消毒滅菌について理解する 学習内容:手術に関する消毒滅菌について					
	10	患者管理		到達目標:患者管理について理解する 学習内容:術前管理、術中・術後管理について					
	11	外傷		到達目標:外傷について理解する 学習内容:頭部・胸部・腹部外傷(腎泌尿器生殖器外傷含む)等について					
	12	熱傷		到達目標:熱傷に対する応急処置と救急処置を理解する。 学習内容:熱傷に対する応急処置と救急処置					
	13	神経系の構造と機能		到達目標:神経系の構造と機能について理解する 学習内容:神経系の構造と機能					
	14	神経・筋肉系①		到達目標:代表的な神経疾患について説明できる 学習内容:脳血管障害、脳炎・髄膜炎、脳腫瘍、アルツハイマー病、Parkinson病、筋萎縮性側索硬化症					
	15	神経・筋肉系②		到達目標:代表的な末梢神経疾患、筋疾患などについて説明できる 学習内容:多発性硬化症、進行性筋ジストロフィー、重症筋無力症、ギランバレー症候群、その他の神経疾患					
成績評価の方法・基準		対面・オンライン共通：期末試験(100%)							
教科書		臨床工学技士標準テキスト(第4版)			小野哲章		金原出版		
参考図書		臨床工学講座 臨床医学総論(第2版)			篠原一彦		医歯薬出版		
教員からのメッセージ		配布資料とスライドとで補足をしながらか講義を行います。(教科書の該当する箇所でする予習をしてください) 病院で勤務した臨床工学技士がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							